

多文化共生学プログラムの 教育における3つのポリシー

1, ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 多文化共生学に関する高度な専門知識・技術を身に付けて、世界様々な地域の文化的・社会的問題を理解し解決する能力を修得
- ・ 多文化共生に関する諸課題について、調査、情報収集、分析する能力を修得
- ・ 多文化共生に関する諸活動において活用できる学際的な思考力及び異文化間コミュニケーション能力を修得
- ・ 複数の言語で情報を収集・発信するスキル・リテラシーを修得

2, カリキュラム・ポリシー（学修・教育目標を達成するための教育体系）

- ・ 異文化間の摩擦や交流の歴史と現状について、世界様々な地域の事例から学際的に学ぶとともに、人権と文化の多様性を尊重する多文化共生とは何かを探究するための必修・選択科目を配置
- ・ 多文化社会における主体的行動力、コミュニケーション能力、課題解決力を向上させるための実践的科目を配置
- ・ 多文化社会における実践力涵養のために複数の言語で情報収集・発信に関わるスキル・リテラシーを強化する専門科目を配置

3, アドミッション・ポリシー（入学者 受入れの方針）

- ・ 多文化共生学を学修するために必要な社会学、文学・文化研究、心理学、言語学、人権論等の基礎学力を有する人
- ・ 文化、言語、思想、宗教、価値観、立場の異なる人々が共に生きる社会の形成について深く学び、新しい課題の解決に挑戦する意欲のある人
- ・ 多文化共生学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲のある人